



eスポーツ大会開催会場「コクゲキ」は約180名を収容可能

ICT × 地域

# ICTパークを活用した中心市街地の にぎわいを創り出すICT人材の育成

旭川市

## ICTパークの誕生

コンピュータゲーム等をスポーツ競技として捉える「eスポーツ」の人氣が高まっているなか、令和3年2月、旭川市にeスポーツを核としたICT拠点『ICTパーク』がオープンしました。

市内中心部に位置する本施設は、最先端の通信技術であるローカル5Gを導入し、道内最大級となるeスポーツ大会開催会場「コクゲキ」を構えます。

この会場は、市民に親しまれてきた元映画館、旭川国民劇場を活用したもので、eスポーツ施設としては全国的にも珍しい、劇場スタイルのホールです。

ステージ上には大型LEDビジョンを備え、大会を盛り上げる照明・音響設備も完備しています。

また、施設内にはeスポーツ用のトレーニングジムも整備。高性能ゲーミングPC、ゲーミングチェアやヘッドセットなどの周辺機器を完備しています。

eスポーツ大会としては、オープニングセレモニーで『ぶよぶよeスポーツ』を使用したデモンストレーションが行われたほか、3月には「コクゲキカップeBASEBALLバワフル

カップ」が開催されました。

口野球2020」、また4月には周辺9市町長が「ストリートファイターV」で熱戦を繰り広げるエキシビジョンマッチも開催されました。

このような本格的なeスポーツ大会を始めとして、スポーツ・音楽のライブビューイング、シンポジウム、学校授業など幅広い用途に対応することが可能な施設となっており、今後、さらなる活用が期待されるところです。

## 旭川市の現状と課題

人口約33万人の旭川市は、北海道で最大の商業・物流の拠点で、医療・福祉教育、文化などの都市機能が集積し、周辺地域の経済・生活を支える中核都市となっています。しかしながら、中心市街地には、中高生や大学生等の若者が集まる場所が少なく、まちなかに人を呼び込み、にぎわいをどのように増やすかが課題となっていました。

また、学校では順次プログラミング教育が始まり、将来に向けてICTに対応する人材を育成するためには、子どもたちがICTをより身近に感じることができ、環境を構築することが求められました。



市民に親しまれてきた元映画館「旭川国民劇場」を活用

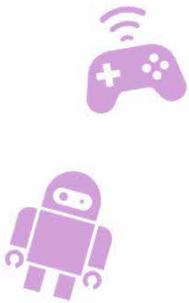
オープニングセレモニーの様子



コミュニケーションロボットなどを活用したプログラミングの思考体験



高性能ゲーミングPCを完備したeスポーツのトレーニングジム



さらに、国では積極的なデジタル化を推進しており、旭川市においても、IT関連企業の誘致のほか、地域産業にもAIやIoT技術を活用して課題解決をしていく必要があります。

### ICTパークの整備

旭川市では、このような課題に対応するため、ICTパークによって新たな価値を創出し、地域活性化を図るプロジェクトを進めることとしました。

施設の整備にあたっては、施設所有者から「地域貢献に活用して欲しい」という申出と改修費用を負担いただいたことがきっかけとなり、連携して事業を進めているNIT東日本の協力のもと、改修が進められました。元映画館であった施設は、中心市街地という立地と、階段状の観覧席を有する形状により迫力のあるeスポーツ観戦が期待できることから、ICTの拠点とするには、またとない環境でした。

### ICTパークに期待される役割

ICTパークに期待される役割で、まず挙げられるのは「eスポーツ拠点」としてのにぎわいの創出です。eスポーツを通じて、学生からシニアまで世代を超えた交流やまちなかの取組と連動した市中心部ににぎわいが生まれることが期待されます。

次に、子どもたちが楽しく理解を深

めることができる「プログラミング的思考体験拠点」としてもその役割が期待されています。また、ICTパークで生まれる活躍の場は、不登校生徒も含め、多様な子どもたちの可能性を引き出す新たな居場所となります。

さらに「ICT関連推進拠点」として、IT関連企業の誘致のほか、ICTに関心の高い人材と企業が繋がる環境がつけられることにより新たな交流が生まれ、人材育成や地域活性化にもつながります。

### 今後に向けて

民間企業や関係団体、教育機関などさまざまな団体が組織する「ICTパーク推進協議会」において、今後の施設運営の基本的な方針やeスポーツを核としたにぎわいの推進に関する事業などについて検討しています。運営費には国の地方創生推進交付金を活用するほか、企業版ふるさと納税を活用し、協賛金をいただいた企業を冠とした大会を開催することも予定されています。

ICTパークでは、eスポーツの大会だけではなく、eスポーツの体験会や交流会などを通じて新たなコミュニケーションの形成や、eスポーツを活用した文化・教育・観光・食・経済など地域の未来をテーマとしたセミナーを開催することで、eスポーツの理解を促進するための取組を行っていきます。

#### ICTパーク周辺地図

白木屋 ●    ↑ 4条通

● 中里メガネ

▶▶▶ 3条通り

OKUNO    買物公園

▶▶▶ 2.3仲通

旭川駅 ↓

● 歌屋

● リーガル シュース

● ICTパーク (神田館内)

● ミスタードーナツ

#### ICTパーク

〒070-0033  
旭川市3条通8丁目842-2  
神田館  
TEL 0166-85-6232

QRコード読取で  
公式ウェブサイトへ



オープニングセレモニーでのデモンストレーション(秋葉原の選手と旭川市の代表者がオンラインで対戦)

地域 × 企業

各地で活躍する地域活性化起業人

活用自治体紹介  
喜茂別町  
長沼町

豊かな地域を創るためには、地方自治体による政策だけではなく、民間の力を借りて協力しながら地域を運営していくことが必要です。今回は自治体と企業の協働のひとつの形である『地域活性化起業人』の取組を紹介します。

地域活性化起業人とは

地域活性化起業人（以下「起業人」という）とは、令和3年度に総務省が創設した地域活性化起業人制度により企業から自治体に派遣される社員のことで、この制度は平成26年度から令和2年度までは「地域おこし企業人交流プログラム」という名称で推進されていたものを刷新したものです。

制度の内容は、三大都市圏に所在する民間企業等の社員がそのノウハウや知見を生かしながら地域の魅力や価値の向上、地域経済の活性化につながる業務などに従事し、自治体と協力して、地方への人の流れを創り出そうというものです。期間は最短6か月から最長3年であり、自治体と企業は起業人に関する派遣形態や勤務条件等を協議の

上、決定します。  
なお、起業人の受け入れ等に要した経費は特別交付税によって措置されます。

活用自治体の推移

本制度を活用している自治体は、地域おこし企業人の開始時から年々増加しており、令和2年度には全国98自治体において148名が活躍しています。さらには、令和3年度では起業人の受け入れを希望する自治体も多く、4月時点で既に77自治体98名の新規募集がされています。自治体が希望する起業人の活動分野は観光振興が最も多く、次いでICT、地域産品開発、地域経済の活性化等に資する人材となっています。

年度	全国	北海道
H27	25 (28)	1 (1)
H28	32 (37)	4 (4)
H29	50 (57)	7 (8)
H30	56 (70)	7 (8)
R1	65 (95)	7 (9)
R2	98 (148)	9 (12)

活用自治体数の推移（括弧内は人数）  
（総務省ウェブサイトから抜粋）

地域活性化起業人制度  
（企業人材派遣制度）

**対象者**  
三大都市圏に所在する企業等の社員（在籍派遣）

**受入団体**

- 三大都市圏外の市町村
- 三大都市圏内の市町村のうち、条件不利地域を有する市町村、定住自立圏に取り組む市町村及び人口減少率が高い市町村

**活動内容**  
地域活性化に向けた幅広い活動に従事

**特別交付税措置**

- 派遣元企業に対する負担金など起業人の受入に要する経費（上限額：年間560万円/人）
- 起業人が発案、提案した事業に要する経費（上限額：年間100万円（措置率0.5）/人）
- 起業人の受入準備経費（上限額：年間100万円（措置率0.5）/団体）

**期間**  
6か月～3年

双方におけるメリット

この制度を利用することは、受入自治体と派遣先民間企業の双方にとって多くのメリットがあります。

例えば自治体は、民間企業のマーケティング技術を活かした観光客の誘客や地域特産品の販路開拓のほか、地域中小企業支援、中心市街地活性化の支援、デジタル化の推進など、これまで企業で培

われ蓄積されてきた専門知識や人脈を活用し、外部の視点を取り込みながら地域課題の解決に取り組むことができます。

企業にとっては、会社では体験できないさまざまな経験を社員に積ませることにより人材を育成することができます。また、地域と交流を持つことで、新たな形で社会貢献を果たすとともに経験豊富なシニア人材への新たなライフステージの提供にもつながることが期待できます。

地域活性化起業人の概要（総務省ウェブサイトから抜粋）

INTERVIEW



道内で活躍する起業人の方に聞きました！

令和3年度から派遣

## 喜茂別町



喜茂別町総務課企画係

田村 怜子さん

《派遣元企業》

ジャパンケーブルキャスト(株)

### 市町村での仕事

一緒に起業人となった高橋さん(派遣元企業・(株) JTB)とともに、町の知名度アップと、関係人口の増加を目指し活動しています。着任してまだ日が浅いので現段階ではどのような地域資源や人がいるのかなどを調査し、その合間に人とのふれあいを大切にするなどして毎日をおくっています。

### 派遣にあたって

弊社は全国各地のケーブルテレビ局に情報配信サービスを提供しており、他社ではできない弊社ならではのシティプロモーションを得意としています。私も、道内町村の番組制作で現地レポーターとして携わったことがあり、派遣の依頼があった時には、当時の魅力をもっと知ってお役に立ちたいという強い思いから、すぐに引き受けました。



元協力隊員との打ち合わせ

### 市町村職員として働いてみて

喜茂別町では住民に対する情報発信は弊社が提供するIP告知端末とスマホアプリを活用しており、他の市町村と比べるときめ細やかだと感じましたが、外部に対する情報発信については、ホームページなどではなく、改善が必要だと思いました。

広くたくさんの人に知ってもらうために、まずはHPの充実を行う必要があること、動画や画像など、情報を視覚的に伝える必要があります。また、行政主導で事業などの物事を進めるのではなく、住民が率先して動けるような仕掛けや取り組みが必要であると思っています。

### 今後の取組・展望について

今年度から動き始めようとしている「女子野球タウン」プロジェクトは、町にとつて非常に重要なものであると感じています。「NPO法人北海道ベースボールクラブ」と「全日本女子野球連盟」との連携協定、北海道唯一の女子野球クラブ「ホーネット・レディーズ」のホームタウン化など、女子野球を軸として様々な取り組みを融合させ、喜茂別町の情報を各種メディアや手法を用いて発信し、「きもべつファン」を増やしていくように「きもべつプロモーション」を進めていきたいと思っています！

令和元年度から派遣

## 長沼町



長沼町政策推進課

平林 毅一郎さん

《派遣元企業》

公益財団法人日本生態系協会

### 市町村での仕事

長沼町は、平成28年度から北海道開発局とともに「タンチョウも住めるまちづくり」に取り組んでおり、タンチョウの生息環境を整備して定着を図るとともに、タンチョウをシンボルとした環境学習や地域間交流などの社会形成、農業や観光などの経済振興を推進しています。

私は役場内で本取組の専門員として各種企画調整、事業の実施を行っています。

### 派遣にあたって

日本生態系協会は、以前から全国で“生態系ネットワークづくり”に取り組んできました。生態系ネットワークとは、保全すべき自然を有機的に繋ぎ、生活や産業などの人間活動と両立し、さらには価値や魅力を高めていく取組のことです。この活動の中で長沼町とご縁ができた、よ

### 市町村職員として働いてみて

役場は、地元のあらゆる団体や個人の多様な考えを汲み取りながら、公共を意識し仕事をしなければいけません。「タンチョウも住めるまちづくり」は自然環境、

### 取組の成果やエピソード

取組の当初、町にタンチョウが暮らすイメージを具体的に持てた人はほとんどいなかったかと思いますが、予測を超えたスピードでタンチョウはやってきて、昨年5月、道央圏では100年以上ぶりの人工の湿地では世界初となるタンチョウのヒナが誕生したニュースが話題となり、多くの人が訪れ、町内のお店や工芸作家さんなどがタンチョウをモチーフにした商品を開発・販売するなど、少しずつ町内外からの注目が高まっているのを感じています。

### 今後の取組・展望について

自然保護団体のノウハウ導入に起業人制度を活用している例は、他には無いのではないかと思います。タンチョウとの共生が地域にどのような価値をもたらすのかを、具体的イメージを携えて伝えていくことで、全道、全国に自然保護を通じて地域活性化が広がることを期待しています。



令和2年5月に誕生したヒナ



タンチョウをモチーフにした商品

本記事の内容は、北海道総合政策部地域政策課地域活力係で担当しております。  
お問い合わせ先 TEL:011-204-5791

北海道の魅力的な地域や人とつながるヒントをお届け！

創る

令和3年7月発行  
発行：北海道総合政策部地域創生局地域戦略課 電話(直通)：011-206-7298



## 「ひみつキッチン」とは？

幅広い北海道の地域〔ローカル〕に目を向けてみれば、  
ふだんは関わることのなかった、すてきな地域や人の魅力にたくさん出会えるはず。

それはきっと“味わい深い”もの。

地域の仲間たちとシェアする素敵な時間。新しい何かを見つける場所。

そんな**地域との関わり**という“おいしいレシピ”が生まれるところ。

誰かに教えたくくなるような、でも内緒にしておきたいような

それはまるで、秘密基地のような“ひみつのキッチン”。

「ひみつキッチン」で一緒に“おいしいレシピ”を味わってみませんか？

### ツナガル・カカワル

地域と“どんな関わり”ができるのか？  
様々な地域の気になる情報を掲載！



【イベントの告知の例】



【モニター募集の例】



【地域活動への参加募集の例】

### 北海道カカワルプロジェクト

地域で魅力的なかかわり方・  
働き方をしている人々を紹介



立川 彰さん      きのかずさん      目黒 沙弥さん      石狩ファームビュック

みんなが実践している  
“おいしいレシピ”を公開中！！  
詳しくはWebで！

## オンラインイベント開催

参加無料

道内地域で活躍する方々をゲストに迎え、  
地域と関わるきっかけをつくるトークイベントをオンラインで開催！  
気軽に視聴できる会や意見交換ができる会など、  
様々な会を予定しております。詳細はWebで随時更新していきます！



これまでのイベントも

01 ~ 07

YouTubeで配信中！

WEBサイトはこちら！

URL : <https://hokkaido-kankei.jp/>

ひみつキッチン



【お問い合わせ先】北海道総合政策部地域創生局地域戦略課地域創生係 電話：011-204-5131 (直通)



「創る」バックナンバーは、“ほっかいどう応援団会議ポータルサイト”へ

QRコード読取で  
バックナンバーへ

ほっかいどう応援団会議

検索

URL : <https://hkd-ouendankaigi.jp/info/tukuru.html>